

【9月は「防災月間」です】

9月1日は防災の日、そして9月は防災月間です。

大正12年9月1日 関東大震災が発生しました。その大惨事を忘れないため、また、この時期は台風の被害が多い時期であることから防災の日、防災月間が定められたそうです。

災害時、まずは「自分の身は自分で守る」ことが一番重要です。そのためには、事前の備えが必要です。緊急避難グッズや非常食を準備したり、家族で安否確認の方法や集合場所など話し合っておきましょう。

避難場所はどこなのか、どうやって避難するのか確認するとともに、どのタイミングで避難行動を開始するのか確認することも大切です。

また、今なお新型コロナウイルス感染の危険が続いています。「WITH（ウィズ）コロナ社会」における災害への備え、避難行動も必要です。

日頃より、地域の方々と関係を築いておくことが災害時には役立ちます。災害犠牲者の多くが高齢者です。非常時に避難支援がし合えるように、近隣の顔が見える関係を築いておきましょう。

非常持ち出し品を用意しておきましょう！

日頃からすぐに持ち出せる最低限の備えが、被害の軽減につながります。感染症対策にも考慮しながら準備しましょう。

- 飲料水 非常食
- 懐中電灯・乾電池 携帯ラジオ
- 携帯電話の充電器・バッテリー
- 緊急キット、携帯用トイレ
- 免許証・健康保険証・お薬手帳のコピー
- 医薬品・乳幼児品
- 現金・貴重品



- マスク 消毒液 体温計
- ティッシュ・ウエットティッシュ
- ゴム手袋 ビニール袋

避難所では、皆さんに感染症対策の協力をお願いします！

- マスク、消毒液、体温計を携行 避難所へ入る前の体調チェック
- こまめに手洗い・手指消毒 人との距離をとる・密着した状態での会話を避ける